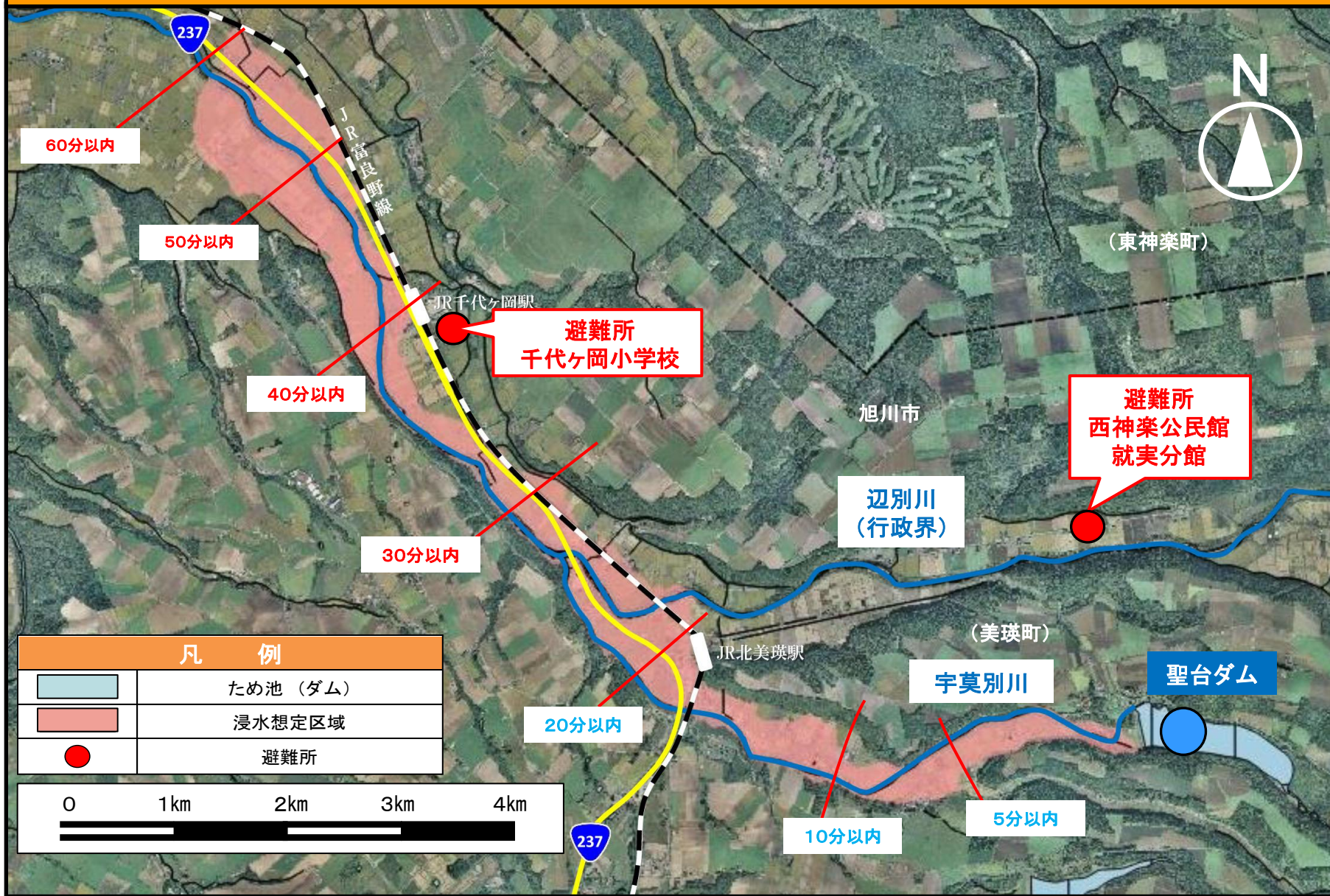


ため池ハザードマップ 【 聖台ダム 】

浸水想定区域

S=1:50,000



凡 例	
	ため池 (ダム)
	浸水想定区域
	避難所

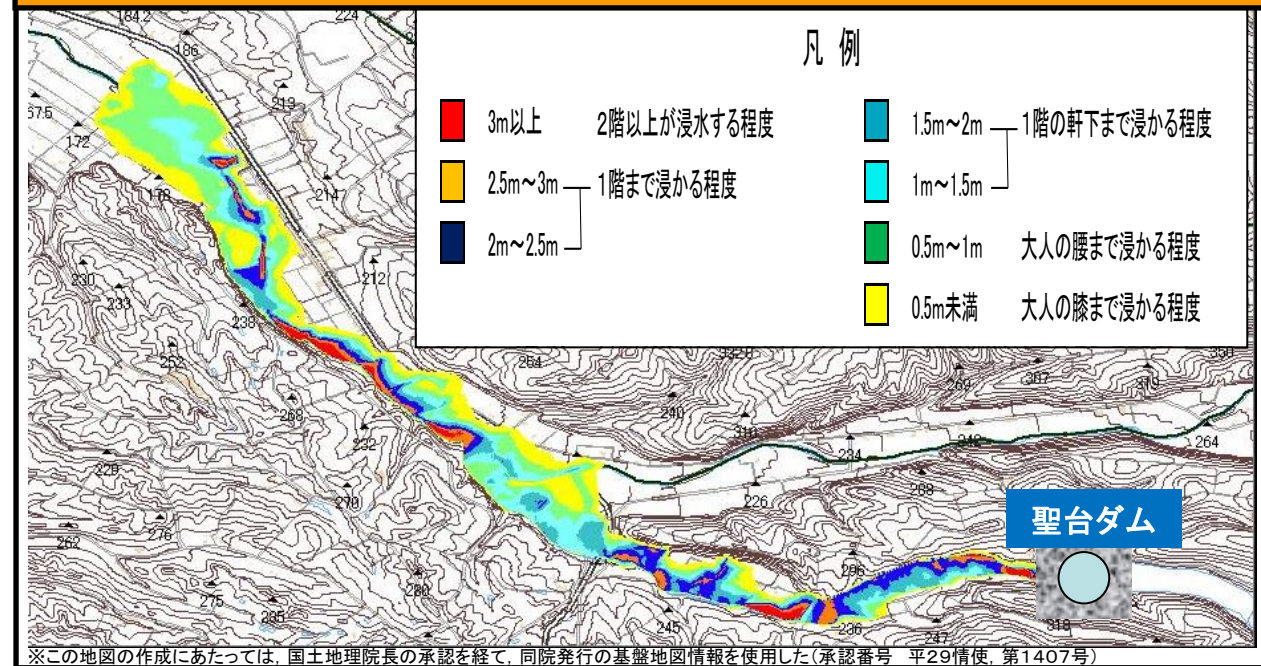
0	1km	2km	3km	4km
---	-----	-----	-----	-----

聖台ダムの概要



聖台ダムの諸元
 築造年: 1937年
 堤高: 29.69m
 流域面積: 57.10km²
 総貯水量: 3,998.991千m³
 水路を桜並木が覆い、満開の花を映す水が流れる様は絵画のように美しく、桜の名所となっている。
 疏水百選に認定(平成18年2月22日)
 土木学会選奨土木遺産認定(平成20年11月18日)

60分後の想定最大浸水深



ため池ハザードマップについて

近年、集中豪雨や地震によりため池災害が発生しており、また、災害に至らなくても、非常に危険な状態となり、下流域の住民の方が避難を余儀なくされる事態が発生しています。

このようなことから、集中豪雨や地震により、ため池(ダム)が決壊するといった最悪の事態を想定し、決壊による浸水被害想定と避難対策等の情報を分かりやすく住民の皆さんに提供することを目的にハザードマップを作成しました。

- 日頃から、家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先を確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的避難を心掛けましょう。
- 皆さんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。



実際の浸水区域は、ダムの貯水量、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、表示されている範囲以外にも被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

この浸水区域については、ダムが決壊した際の浸水域であり、ダム以外の氾濫は想定していません。

浸水到達時間は目安です。実際の浸水は予想より早まる可能性があります。

豪雨時は、ため池の決壊ばかりでなく河川氾濫にも注意が必要です。

河川氾濫とため池災害が同時に発生した場合は、想定した「浸水区域」や「最大水深」を超える可能性があります。

避難する際は、河川には近づかず、なるべく高いところを通して避難しましょう。

緊急連絡先

旭川土地改良区(施設管理者)	Tel 75-5511
旭川市農政部農林整備課	Tel 25-7459
旭川市防災安全部防災課	Tel 33-9969
西神楽支所	Tel 75-3111
千代ヶ岡小学校	Tel 74-2214
西神楽公民館就実分館	Tel 74-2552
警察	Tel 110
消防	Tel 119